



8月も終わりです。教室にクーラーが入る前までは、8月末までが夏休みでした。9月から2学期ということで区切りがよかったのですが、もはやそういうわけにもいかない時代です。そんな8月の最終日は、夏の「セミファイナル」でもあります。

テニスの試合では最後のゲーム（5ゲームマッチなら5ゲーム目のこと）を「ファイナル」と呼びます。つまり勝敗をかけた最後のゲームのことを指します。「セミファイナル」ということばの、「セミ（semi-）」とはラテン語で「半分、未完成の～」を意味します。ですから、スポーツの試合などでは準決勝を意味することばとして使われ、「準」の意味があると考えられます。アマチュアでありながら本職に近い技量を持っている人のことをセミプロと呼ぶように、「セミ～」は完成に至っていない状態のことをさします。そんなことを考えると、ここ数日のきびしい残暑は、まさに夏の「セミファイナル」といえるのではないのでしょうか。

さて、この「セミファイナル」、もうひとつの意味があるようです。ラテン語の（semi-）ではなく、「蟬（せみ）」だということです。つまり、せみのファイナルだということ。そういえばこの時期、道路にせみが落ちています。夏の間、うるさいほどに鳴いていたせみが最後の時期を迎えています。

せみは6月ごろ、梅雨の時期にふ化かして幼虫になります。地面に落ちて土の中なかにもぐり、木の根から汁を吸いながら、ゆっくりと5年かけて成長します。ところが成虫になってからのセミの寿命は2～3週間くらいで非常に短いです。わずか2～3週間ではありますが、いまある命を輝かせていっしょうけんめい生き、「セミファイナル」となっていくのです。いっしょうけんめい生きようとするのは、人間もセミも同じです。



9月に入っても猛暑が続いています。はじめての7時間目があつた昨日、午後3時ころのろうかは熱風が吹いていました。クーラーが効いているはずの教室もあまり涼しくはありません。日本はいつから熱帯になったのかと、目を疑いたくなるありさまで。そこでちょっと調べてみました。世界の最高気温はどれくらいだろうかと・・・これがちょっとびっくり、必ずしも熱帯ではないのです。

順位	気温(℃)	国	地域	観測日
1	56.7	アメリカ	デスバレー	1913年7月10日
2	55	チュニジア	ケビリ	1931年7月7日
3	54	イラン	アフヴァーズ	2017年6月29日